



▲整然と行進する団員

**白河市消防団出初式
防火・防災の決意を新たに**

1月8日、コミネス（会津町）で、消防団出初式が行われ、約810人の消防団員が参加しました。式に先立ち行われたパレードでは、統監の鈴木市長らが見守る中、本町から中町までを消防団員が勇壮に行進し、防火・防災の決意を新たにしています。

また式では、鈴木市長が「消防団は地域の要。市民の安全、安心のために活躍を期待する」と訓示、邊見友雄消防団長が「万一に備え団結しよう」とあいさつした後、1年以上の無火災表彰が行われました。



▲わかりやすく発表する児童たち

**白河の歴史文化再発見事業
児童が1年間で学んだことを発表**

12月26日、りぶらん（道場小路）で、白河の歴史文化再発見事業「小学6年生学びの集い」が行われ、児童が1年間を通して学んだ成果を発表しました。

市内の各校の代表児童86人が5つの班に分かれ、小峰城や南湖、住んでいる地域の歴史などを壁新聞や映像にまとめ発表し、感想を伝え合い交流を図りました。

その後、星教育長が「大切にしてほしいこと」をテーマに、「郷土の歴史や文化を学び、誇りに持つこと」などを話しました。



▲めぐみさんが北朝鮮の工作員に拉致された状況を再現したシーン

**舞台劇公演「めぐみへの誓い―奪還―」
拉致問題への認識を深める**

1月12日、コミネスで、北朝鮮に拉致された横田めぐみさんを題材にした拉致問題啓発舞台劇公演「めぐみへの誓い―奪還―」が行われました。

演劇は、劇団「夜想会」（東京）による上演で、めぐみさんの父滋さん役を俳優の原田大二郎さんが演じました。めぐみさんが拉致されるシーンや収容所での思想教育を受ける様子などが描かれ、会場に詰めかけた約850人の観衆は、迫真の演技に見入り、改めて拉致問題への認識を深めました。



▲万歳三唱をする参加者

**新春市民交歓会
飛躍への思いを新たに誓う**

1月4日、鹿島ガーデンヴィラ（北中川原）で、「新春市民交歓会」が行われ、約500人が参加しました。

鈴木市長、牧野白河商工会議所会頭、塩田大信商工会会長のあいさつの後、叙勲受章者が紹介され、白河謡曲会櫻謡会が「高砂」を披露しました。続いて鏡開きを行い、高橋市議会議長の発声で乾杯、参加者は新年のあいさつを交わしながら、親睦を深めました。

結びに、万歳三唱が行われ、飛躍への思いを新たにしました。



▲熱演するしらかわ演劇塾のメンバー

**しらかわ演劇塾「新・私の家の太陽」
出演者に盛大な拍手が送られる**

1月21日・22日の2日間、コミネスで、しらかわ演劇塾（十文字律子代表）の第1回公演「新・私の家の太陽」が計3回上演されました。

原作は岩田隼さん（元白河実業高校演劇部顧問）が東日本大震災後に書き下ろした「私の家の太陽」、これを再構成、バージョンアップし新たな作品として上演しました。演劇は福島県のある庭を舞台にしたフアンタジーで、除染作業に対する花の妖精たちの思いを演じた物語は大きな感動を呼び、会場を埋め尽くした来場者が盛大な拍手を送りました。



▲団子を飾り付ける園児たち

**伝統行事「団子さし」体験
願いを込めながら飾り付け**

1月6日、大信幼稚園で、伝統行事「団子さし」体験が行われました。約50人の園児たちは、ひじりん館の野崎一文総括マネージャーから団子さしの由来を教えてもらった後、願いを込めながら丁寧に、約2メートルのミズキの枝に白、ピンク、黄色の団子や小判、米俵、鯛などをかたどったふなせんべいを飾り付けたほか、大きくなったらなりたいことを書いた短冊をつりました。

出来上がった団子さしは、1月18日までひじりん館に展示され、来場者を楽しませました。